スクリーンインキ
蒸発乾燥型インキ

一般印刷 | 蒸発乾燥型

OPSインキ 5600シリーズ

PPシート等の硬質ポリオレフィン材への印刷用に開発した、耐候性に優れた蒸発乾燥型の光沢インキです。

製品の特長

- ポリオレフィン材への接着力が優れています。
- インキ皮膜は強靭で、耐摩耗性に優れています。
- 耐油性、耐アルコール性、耐薬品性に優れています。
- 耐候性、耐水性、耐湿性に優れています。

特性

強靭な硬化皮膜　接着性

耐性

耐水性　耐湿性　耐薬品性　耐溶剤性　耐アルコール性　耐油性　物理的耐性　耐候性　耐摩耗性

推奨被印刷物

材質

オレフィン系　処理ポリエチレン［PE］　処理PEボトル　処理ポリプロピレン［PP］　処理PPシート　処理PP成形品
硬質ポリオレフィン　未処理ポリプロピレン［PP］　未処理PPシート　塗装面　塗装金属　塗装金属板

最終製品

ポリボトル

仕上り・質感・見た目の効果

仕上り

グロス

カラー・グレード

標準色（一般色）

00メジウム | 01白 | 08赤 | 16ピンク | 25紫 | 28オレンジ | 35浅葱 | 45濃藍 | 46藍 | 75グリーン | 90黒

標準色（耐候色）

06金赤 | 13青黄 | 14黄 | 18紅 | 87群青

スペック

荷姿

1kgインキ缶

TEL　03-3907-3161
FAX　03-3907-9988

使用方法

- 希釈溶剤（#150速乾、#170標準、#200遅乾、#250リターダー）を適量加え、
  良く撹拌してから印刷して下さい。
- ポリオレフィンは、印刷する前に出来るだけコロナ放電処理またはフレーム処理をして下さい。
  インキの接着性が一段と向上します。
- 表面処理については、別紙試料「ポリオレフィン材の表面処理」をご参照ください。
- 未処理PP材に対しては、OPSインキでも接着力が不十分なことがあります。
  このような場合の接着性向上策としては、次のような方法がありますので、お試しください。
  - プライマーを塗布した上に、OPSインキを印刷します。
  - OPSメジウム+JA-P17（10～20%）をプライマーの代わりに印刷します。
  - JA-P17接着性向上剤をインキに5～10%加えて印刷することにより、接着性が著しく向上します。
    JA-P17を使う場合、印刷作業性が低下し、光沢や濃度も低下しますので、ご注意ください。
- 工業部品等への印刷で、OPSインキでは接着性、物性等が不十分な場合があります。
  このような場合には、素材をコロナ放電処理またはフレーム処理した後に1000シリーズエピライト、
  2000シリーズAPまたはAPGインキを印刷してください。

刷版

洗浄	推奨印刷膜厚
#150速乾溶剤 または ビニール洗用溶剤	中

硬化方法・硬化条件

蒸発乾燥条件

指触乾燥	完全乾燥
PPシート、20°Cの場合 • #170標準 10%添加：約10分 • #200遅乾 10%添加：約15分 • #250リターダー 10%添加：約20分	60°C 約5分 接着性も向上しますので、強制乾燥の実施をお勧めします。

試験データ（環境・物性・耐候性・性能など）

条件

試験インキ	OPS5690黒
希釈溶剤	#170標準溶剤（15%）
刷版	250メッシュ
乾燥条件	室温48時間以上

結果

試験項目	試験方法	結果
接着性	100/100クロスカットセロテープ剥離試験	100/100剥離なし
鉛筆硬度	750g荷重 剥離硬度	H
耐水性	25°C水中 240時間浸漬	外観異常なし 接着性100/100
耐温水性	45°C水中 4時間浸漬	外観異常なし 接着性100/100
耐湿性	60°C 湿度95% 96時間	外観異常なし 接着性100/100
耐候性	キセノンウェザーメーター 300時間	外観異常なし
耐酸性	0.1N 硫酸水溶液 室温24時間浸漬	外観異常なし
耐アルカリ性	0.1N 水酸化ナトリウム水溶液 室温24時間浸漬	外観異常なし
耐摩耗性	学振式 荷重1kg 往復500回	異常なし
耐アルコール性	エタノール99.5% 学振式 荷重500g 往復100回	異常なし
耐ガソリン性	レギュラーガソリン 学振式 荷重500g 往復5回	剥離なし 光沢変化あり

耐候性一覧

等級	色名
7	5600メジウム 5601白 5608赤 5635浅葱
7-8	5606金赤 5613青黄 5614黄 5616ピンク 5618紅 5625紫 5628オレンジ
8	5645濃藍 5646藍 5675グリーン 5687群青 5690黒

注意事項

- 軟質のポリオレフィン類（ポリエチレンフィルム、発泡ポリエチレンシート等）への印刷には適しません。
- 輸出用OPSインキが別に設定されています。
  輸出用OPSインキは、国内用OPSインキよりも耐候性が低下しています。
  海外工場でOPSインキの使用を検討されるような場合にはご注意ください。
- ご使用に際しての安全上の注意事項に関しては、製品の安全データシート（SDS）をご参照下さい。
- 当インフォメーションに記載されている内容は予告無しに変更・改訂する場合があります。
- この特性データは、弊社の実施した評価結果に基づくもので、お客さまのご使用時の製品特性を保証するものではありません。
- 使用の際は、実際に使用される装置及び被着材での評価結果に基づき、条件を十分ご検討の上、ご使用下さい。

TEL 03-3907-3161
FAX 03-3907-9988